



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY



<取材のお願い>

2023年3月1日

群馬大学

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

さくらサイエンスプログラム推進本部

フィリピンの看護学生と世界の死因第一位の NCDs (非感染性疾患) に取り組む ～減塩と和食をキーワードに国際展開を目指して～

群馬大学では3月5日(日)～3月11日(土)、フィリピン大学マニラ校の看護学部の大学生5名、教員1名、計6名を招き、世界共通の課題である NCDs (非感染性疾患: 循環器疾患等) への取り組みについて、本学の学生と共に学ぶ交流プログラムを行います。なお、フィリピン大学は世界大学ランキングで100位以内に入る名門大学です。

本プログラムでは、NCDs に対し、看護師の役割の一つである健康の維持・増進について学ぶと共に、減塩や栄養バランスを考慮できる無形文化遺産の和食の知識と調理法を学ぶことにより、対象者の食生活を無理なく改善することを目指します。特に、日本とフィリピンは、1日当たりの食塩平均摂取量が WHO (世界保健機関) の定める量より多く、過剰摂取に伴う循環器疾患による死亡が増加しており、減塩対策が重要視されています。

また、群馬県では近年、フィリピンなどアジア各国からの外国人労働者が急増しており、言葉の壁や文化の違いなどを考慮した「一次予防」(疾病予防や健康増進を行うことで原因の排除やリスクの低減を図る) が求められています。

なお、本プログラムは和食の知識や調理法による減塩のための工夫点をフィリピン大学の学生に理解して頂き、フィリピンにおける循環器疾患のリスク要因を軽減することに貢献することが期待されております。

本プログラムを通して、両国の学生が互いの NCDs への取り組みを学ぶことにより、自国民のみならずその国に住む外国人に対して適切な健康教育を行うきっかけとなることを期待しています。両者がタッグを組むことで、世界で問題となっている NCDs への取り組みを、国境を越えて展開していくことが狙いです。

本プログラムは科学技術振興機構 (JST) 主催の「国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム)」* に採択されたものです。

* 「国際青少年サイエンス 交流事業 (さくらサイエンスプログラム)」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学

技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、講義やワークショップの様子、管理栄養士の指導による和食の調理実習の様子、成果報告会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の牧野孝俊准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

●講義/ワークショップ（保険システム、NCDs、リスク因子、多職種連携、減塩の工夫のための和食）●演習（和食の準備、調理、試食）●成果発表会、意見交換会

【研修日程概要】

3月5日（日）	午後	入国、オリエンテーション
3月6日（月）	午前	講義・発表会（保険システム）
	午後	ワークショップ（保険システム）
3月7日（火）	午前	講義・発表会（NCDs、リスク因子、多職種連携）
	午後	ワークショップ（NCDs、リスク因子、多職種連携）
3月8日（水）	午前	講義・発表会（減塩の工夫のための和食）
	午後	ワークショップ（減塩の工夫のための和食）
3月9日（木）	午前	演習（和食の準備・調理）
	午後	演習（和食の試食）
3月10日（金）	午前	レポート作成／成果報告会準備
	午後	成果報告会、修了式、意見交換会
3月11日（土）	午前	羽田へ移動、午後 離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

群馬大学大学院保健学研究科 担当：牧野孝俊

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：田中(禎)、太田）